

CMIC Report 09

シミック株式会社 [シミックレポート]

今日、そして明日へ

シミックは医薬品産業を通じてEBMの確立に貢献し続けます

第25期 中間ビジネスレポート 2008.10.1~2009.3.31

特集 トップインタビュー

2009年9月期第2四半期の総括と今後の戦略

contents

- 03 株主の皆さまへ
- 04 トップインタビュー
- 05 シミックグループの事業領域
- 06 シミックグループの主な事業
- 08 連結財務諸表
- 09 会社概要 / 株式の概況
- 10 コラム -健康情報-





We are
Founder
of CRO business in Japan

**CROビジネスを
日本で初めてスタートしました**

CRO（医薬品開発支援）は1970年代に欧米で誕生した医薬品開発のアウトソーシングビジネスです。1980年代のバイオブームを契機に、臨床試験（治験）期間の短縮、開発経費の節減、開発人材の専門性の向上を目的に需要が拡大し、急速に発展しました。

1992年、日本ではCROの法的な位置づけがない中、私たちは日本初のCROとして本格的にスタートを切りました。

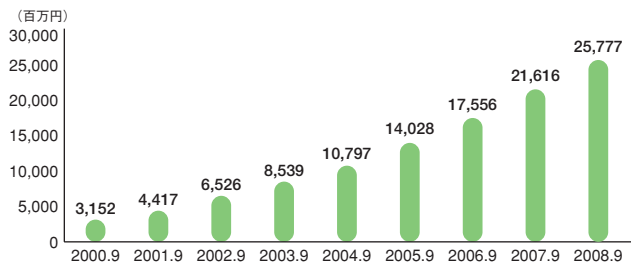
We are
Creator
in CRO Market

CRO市場の拡大に貢献してきました

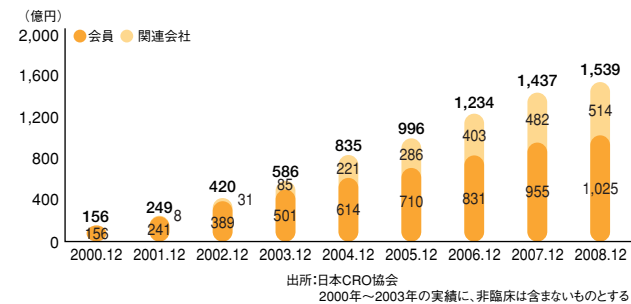
当社代表取締役会長兼社長の中村和男が中心となり、日本CRO協会の前身であるCRO勉強会を発足させ、CROの普及に努めてきました。1997年、国際的に臨床試験の質の均一を求めた新GCP省令（医薬品の臨床試験の実施に関する基準）において、CROが法的な位置づけを得、製薬企業はCROに業務委託をする傾向が高まりました。

シミックでは、創業から現在に至るまで増収を続けており、日本のCRO市場も堅調に成長しています。

● シミック(連結)売上高



● 日本のCRO市場 (CSOは除く)



We are Challenger in New Market

**CROの枠を超え、
ヘルスケア市場へと挑戦しています**

現在、CRO事業を中心に、CMO（医薬品製造支援）事業、CSO（医薬品営業支援）事業により、製薬企業の開発、製造、営業といったバリューチェーンを広範に支援する独自のビジネスモデルを展開しています。

今後は、さらに広く健康を支える新たなビジネスを創出し、顧客層を製薬企業からヘルスケア全般に高めていく新しいビジネスの確立を目指し、安定した成長を遂げていきたいと考えています。



代表取締役会長兼社長／CEO
中村 和男

株主の皆さまには、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

第2四半期は引き続き増収増益を達成

当第2四半期におけるCRO（医薬品開発支援）業界およびSMO（治験施設支援）業界の市場規模は、製薬企業の研究開発費の増加や開発のスピードアップ、効率化を目指したアウトソーシング化の推進を背景に、順調に拡大しています。このような環境において、シミックグループでは国内外の顧客から前期受注した新薬開発支援業務等を順調に進めた結果、当第2四半期の売上高は14,222百万円、営業利益は1,345百万円、経常利益は1,289百万円、四半期純利益は618百万円となりました。

配当性向30%を目標に設定

当社は、事業環境の変化および業界再編に対応できるよう、財務基盤と企業体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益配分を図ることが経営の最重要課題であると考えています。当第2四半期の配当は167円とし、年間配当では334円を予定しています。当期より目標とする配当性向を従来の20%から30%に変更しており、配当性向30%の早期の達成を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

シミック独自の ビジネスモデル ～PVC～

シミックグループは、PVC（ファーマシューティカル・バリュー・クリエイター）として、主に医薬品の研究開発から製造、営業・マーケティングまで、製薬企業を幅広く支援する体制を構築しています。グループ事業の中期的な収益性と生産性を高めるため、2008年10月にグループ組織再編を行い、事業カンパニーとしてCROカンパニー、CMOカンパニー、CSOカンパニー、ヘルスケアカンパニーを設置し、意思決定と業務執行スピードの向上、効率化を図っています。



グローバル展開を加速

シミックグループでは、医薬品開発のグローバル化が進む中、他社に先駆けて国際共同治験に取り組んでいます。現在、アジアにおいては日本・中国・韓国・台湾・シンガポールでの医薬品開発支援が可能となりました。今後も、国際共同治験の実績を増やしていくと同時に、他の地域へも積極的に展開してまいります。

日本最大級のCROと SMOをもつシミックグループ

2008年4月に子会社化したSMO事業を行うサイトサポート・インスティテュート(株)（以下SSI）が、2008年10月、同業務を担うシミックCRC(株)と合併し、新生SSIが誕生しました。また2009年3月には、メディカルトライアルズ(株)をグループ化しました。

日本最大級のCROとSMOをあわせ持ち、連携することにより、最大のシナジー効果を発揮、医薬品の臨床開発サービスの高度化を実現しています。

新規ビジネスへの挑戦

シミックでは、疾患の予防から診断、治療まで、希少疾病（患者さんの数が少ない疾病）をも対象として、患者さんのアンメッドニーズに応えていきたいと考えています。2008年、希少疾病である急性ポルフィリン症の国内未承認医薬品Normosang®の国内開発を行うこととし、海外製薬企業とライセンス契約を締結しました。臨床ニーズが高いにもかかわらず何らかの理由により開発が見送られてきた医薬品の開発に着手することで、社会に貢献する企業を目指します。

Pharmaceutical Value Creatorとしてのシミックグループ

シミックグループは、製薬企業の開発、製造、営業といったバリューチェーンを広範に支援することで製薬企業の付加価値向上に貢献するビジネスモデル「PVC（ファーマシューティカル・バリュー・クリエイター）」を掲げ、CRO事業を中心に、CMO事業、CSO事業へと事業領域を広げています。また、医薬品から医療・ヘルスケアまで分野を広げ、「患者のための医療」に貢献できるビジネスモデルの確立を目指しています。

医薬品
開発支援

Contract
Research
Organization

CRO事業

主に製薬企業などに対し臨床試験などに関する専門的なサービスを提供する事業

医薬品
製造支援

Contract
Manufacturing
Organization

CMO事業

製薬企業などから医薬品などの製造業務を支援する事業

医薬品
営業支援

Contract Sales
Organization

CSO事業

販促資材の企画・制作、MR派遣など、医薬品の営業・マーケティングを支援する事業

ヘルスケア

Healthcare

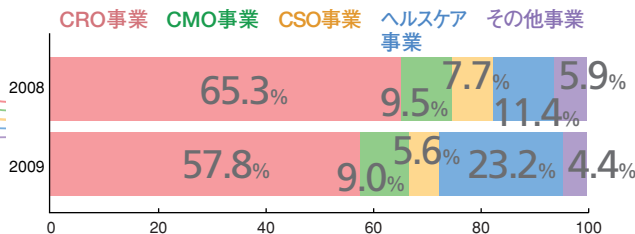
ヘルスケア事業

主に、医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援事業

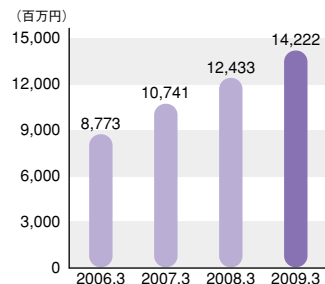
その他事業

新規事業および研究開発にかかる業務を行っています。当第2四半期については、自社における診断薬開発および海外における営業基盤作りを行っています。また、希少疾病である急性ポルフィリン症の国内未承認医薬品の国内開発を行うこととし、ライセンス契約を締結しています。

● 連結売上高構成比（第2四半期）



● 連結売上高推移（第2四半期）



医薬品 開発支援

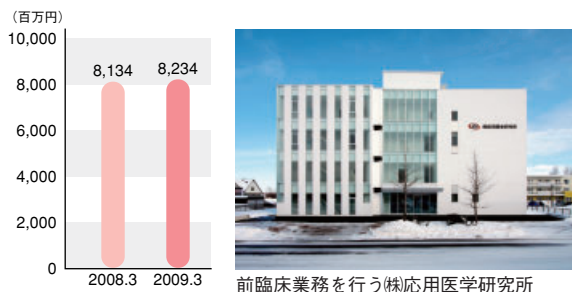
Contract
Research
Organization

さらなる成長に向け、 グローバルCROを目指します

主力のモニタリング業務においては大型既存案件の終了に伴う新規案件への切替時期にあたり、データマネジメント業務も売上高計上の遅れや新規案件の獲得が不振でした。一方、(株)応用医学研究所の前臨床業務は、前期に受託した大型の安定性試験に加え当期受注した試験の売上高も加算されました。この結果、CRO事業の売上高は順調に増加し、8,234百万円（前年同期比100百万円増、1.2%増）となりました。

また当第2四半期において国際共同治験受託に必要となるインフラ整備を行ったことにより、営業利益は908百万円（前年同期比354百万円減、28.1%減）となりました。今後、ますます重要になる国際共同治験の受託に努めてまいります。

● CRO事業売上高（第2四半期）



医薬品 製造支援

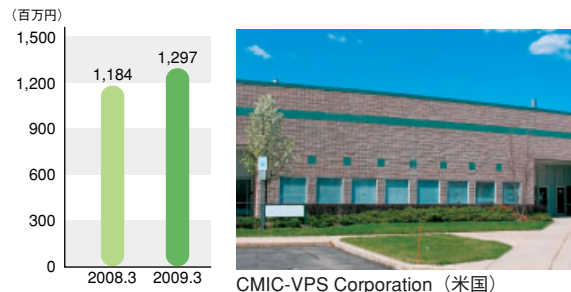
Contract
Manufacturing
Organization

CMO事業については、新規顧客を 獲得し、収益性の向上に注力します

シミック・エスエス・CMO(株)および韓国のCMIC CMO Korea Co., Ltd.において医療用医薬品およびOTC医薬品等を、米国のCMIC-VPS Corporationにおいて治験薬および医療用医薬品の受託製造を行っています。当第2四半期においてはCMIC-VPS Corporationにおいて市販薬の受託製造が開始されたことにより、売上高が増加しました。この結果、CMO事業の売上高は1,297百万円（前年同期比113百万円増、9.6%増）、営業利益は8百万円（前年同期：営業損失43百万円）となりました。

引き続き既存案件を着実に遂行するとともに、国内外での新規顧客を開拓し、収益の安定化を図ります。

● CMO事業売上高（第2四半期）



医薬品 営業支援

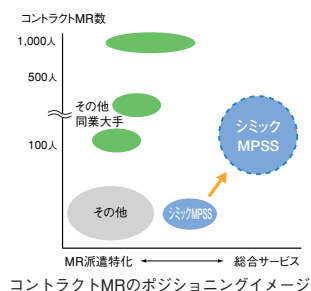
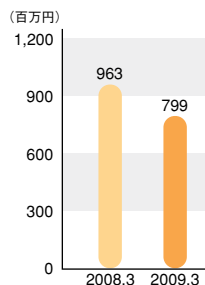
Contract
Sales
Organization

CSO事業では、営業に関する総合的なソリューションを提供していきます

エムディエス(株)によるメディカルコミュニケーション事業(販促資材企画・制作等)が、外資系製薬企業の経費削減の影響を受けたことにより、売上が減少しました。この結果、CSO事業の売上高は799百万円(前年同期比163百万円減、17.0%減)、営業損失は49百万円(前年同期:営業利益51百万円)となりました。

今後は、メディカルコミュニケーション事業の業績回復を目指すと同時に、MR派遣事業において、他社との差別化を図り、新規受託案件による事業規模の拡大に注力します。

●CSO売上高(第2四半期)



ヘルスケア

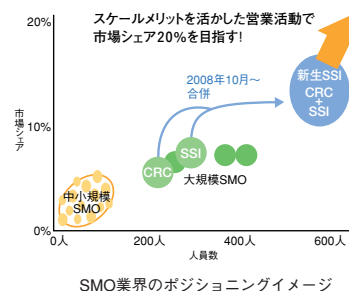
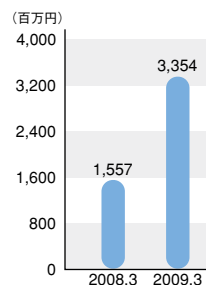
Healthcare

ソリューション・プロバイダーとして新規事業に挑戦していきます

2008年4月に子会社化したサイトサポート・インスティテュート(株)(以下SSI)の業績が加わったことにより、売上が増加しました。SSIは当期、シミックCRC(株)と統合を完了し、関東における医療機関ネットワークの強化を目的にメディカルトライアルズ(株)を子会社化するなど積極的に事業を展開しています。この結果、ヘルスケア事業の売上高は3,354百万円(前年同期比1,797百万円増、115.3%増)、営業利益は627百万円(前年同期比413百万円増、192.6%増)となりました。

今後、さらに広く健康を支える新規ビジネスへの参入にも挑戦していきます。

●ヘルスケア事業売上高(第2四半期)



● 四半期連結貸借対照表(要旨)

(ご参考) (単位:千円)

科 目	当第2四半期 2009年3月31日現在	前 期 2008年9月30日現在
資産の部		
流動資産	14,520,237	14,352,818
固定資産		
有形固定資産	4,893,341	4,513,693
無形固定資産	1,296,545	1,195,989
投資その他の資産	2,097,893	2,010,656
固定資産	8,287,780	7,720,340
資産合計	22,808,017	22,073,159
負債の部		
流動負債	6,300,544	5,793,878
固定負債	2,332,464	2,228,167
負債合計	8,633,008	8,022,046
純資産の部		
株主資本	13,420,524	13,266,520
評価・換算差額等	△ 211,156	△ 131,493
少数株主持分	965,640	916,085
純資産合計	14,175,008	14,051,112
負債・純資産合計	22,808,017	22,073,159

● 四半期連結損益計算書(要旨)

(ご参考) (単位:千円)

科 目	当第2四半期 2008年10月1日から 2009年3月31日まで	前第2四半期 2007年10月1日から 2008年3月31日まで
売上高	14,222,389	12,433,579
売上原価	10,271,636	8,882,912
売上総利益	3,950,753	3,550,667
販売費及び一般管理費	2,605,010	2,232,440
営業利益	1,345,743	1,318,226
営業外収益	56,435	73,777
営業外費用	112,290	136,115
経常利益	1,289,887	1,255,889
特別利益	—	265
特別損失	30,105	993
税金等調整前 四半期純利益	1,259,782	1,255,161
法人税、住民税 及び事業税	674,697	737,079
法人税等調整額	△ 106,138	△ 73,549
少数株主利益	72,526	71,558
四半期純利益	618,695	520,072

Point

売上高

CRO事業の前臨床業務とヘルスケア事業が好調 業績を牽引
四半期純利益
赤字子会社の業績改善により予想を大幅に上回る

● 四半期連結キャッシュ・フロー 計算書(要旨)

(ご参考) (単位:千円)

科 目	当第2四半期 2008年10月1日から 2009年3月31日まで	前第2四半期 2007年10月1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	510,050	1,066,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 829,204	△ 487,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 129,470	△ 33,823
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 32,096	△ 55,889
現金及び現金同等物の増減額	△ 480,722	488,890
現金及び現金同等物の期首残高	6,070,677	4,505,932
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,589,955	4,994,823

「四半期報告制度」の導入にともなう財務諸表の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、以下を取り決めました。

■期初からの「累計値」を用いています。

■当第2四半期の財務情報と前年同期の財務情報とでは会計基準や用語表現などが異なります。しかし前年と比較しやすいよう、「ご参考」として併記しています。その際、前年同期(中間期)につきましては「前第2四半期」と記述しています。

会社概要 (2009年3月31日現在)

商号	シミック株式会社	
設立	1985年	
資本金	3,087,750千円	
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル	
従業員数	2,552名(連結)	
事業所	北海道支社 名古屋支社 大阪支社 九州支社	
グループ会社 (連結子会社)	(株)シミックBS (株)シミックMPSS (株)ヘルスクリック (株)応用医学研究所	サイトサポート・インスティテュート(株) エムディエス(株) シミック・エスエス・CMO(株) CMIC-VPS Corporation
※2009年6月1日現在	CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC BRASIL PESQUISAS CLÍNICAS LTDA.	
持分法適用会社	富士フィルム・シミック ヘルスケア(株)	

役員 (2009年3月31日現在)

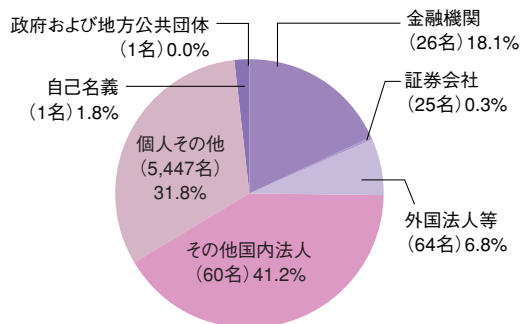
代表取締役会長兼社長	中村和男
代表取締役副社長	中村宣雄
取締役副社長	中村圭子
取締役	中村極
取締役	佐野涉
取締役	望月肇
取締役	菱沼寛
取締役	小沼正久
取締役	若井雄雄
取締役	松原護
取締役	石丸昭雄
取締役	堀井晃
取締役	酒井繁二
取締役	種房俊

株式の状況 (2009年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 2,300,000株
- 発行済株式総数 894,957株
- 株主数 5,624名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	318,410	35.57
中村和男	95,336	10.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	88,610	9.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	35,990	4.02
株式会社キースジャパン	35,972	4.01
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラスト ガンジー アイリッシュ クライアント	16,655	1.86
資産管理サービス信託銀行株式会社	14,600	1.63
シミック従業員持株会	14,317	1.59
野村信託銀行株式会社	12,735	1.42
みずほキャピタル株式会社	10,000	1.11

●所有者別の構成比率(株式数比率)



大和IR2009年インターネットIR優秀企業賞を受賞

Internet IR
優秀企業賞
2009
Daiva Investor Relations

当社は、大和インベスター・リレーションズ(株)が発表した「2009インターネットIRサイト優秀企業580社」に選定されました。

当社では、これまでも投資家の皆さまにわかりやすく、充実したIRサイトを目指してまいりましたが、今後も迅速かつ正確で積極的な情報開示を行ってまいります。

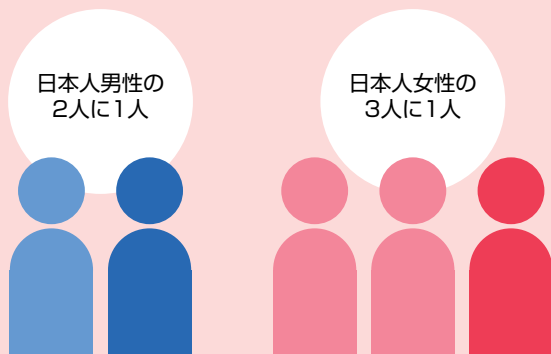
(注) 1. 大株主は、2009年3月31日現在の株主名簿に基づくものであります。
2. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下3位を切り捨てております。
3. 上記のほか、自己株式が16,013株あります。
4. 上記株主の所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 88,610株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 35,990株
資産管理サービス信託銀行株式会社 14,600株
野村信託銀行株式会社 12,735株

「がんの時代にできること」～人間ドックを知ろう!～

2人に1人、3人に1人が「がん」の時代

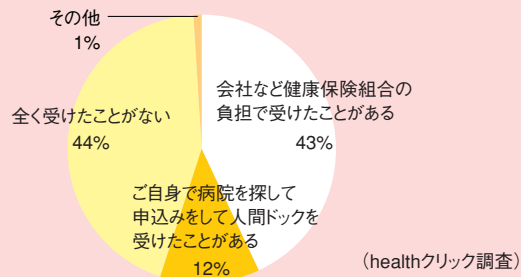
いまや日本人男性の2人に1人、日本人女性の3人に1人が「がん」になるといわれている時代。このような状況を受け、厚生労働省では「がんによる死亡者数を減少させる」「がん患者さんとその家族が、できるだけ苦痛なく安心して治療が受けられる」ということを目標に掲げ、さまざまな対策を行っている。

その中の一つが、がんを早い段階で見つけて治療するために役立つ「がん検診」。がん検診にはいくつかの種類があるが、個人を対象に行っているのが「人間ドック」だ。人間ドックは、胃や大腸にできるがんを発見することに特に効果があると言われている。



意外に受けたことがない? 人間ドック

あなたは人間ドックを受けたことがありますか?



人間ドック受診の有無を聞いたところ「受けたことがある」が55%。この背景には、人間ドックと地域や職場で受けるがん検診との違いや、人間ドックで行う検査の詳細を知らないなどといった、知識不足や不安があるのかもしれない。

人間ドックと地域や職場で受けるがん検診とでは、目的は同じだが、対象者や検査の対象となる体の臓器が異なっている。また、3日以上かけてじっくりと検査できるメニューもあれば、時間の足りない忙しい現代人に人気の、半日や1日で帰れるメニューもある。

さまざまな医療が発達し予防医学が注目される中、推奨されている年に一回というペースで挑戦してみてもはどうだろう。



『healthクリック』は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する、日本で最大級の健康ポータルサイトです(月間1,200万ページビュー、ユニークユーザー数140万人)。このたび新たに「人間ドック検索」コーナーを開設しました。ぜひご活用ください。

PC版 <http://www.health.ne.jp/>
携帯版 <http://health.ne.jp>



PC版「healthクリック」

株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで
 基準日 9月30日
 (中間配当を行う場合は3月31日)

定時株主総会 毎年12月
 株主名簿管理人 〒103-8670

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

公告方法 電子公告 (<http://www.cmhc.co.jp>)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	特別口座の場合	証券会社に口座をお持ちの場合
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
電話お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル)	お取引の証券会社になります。
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	
ご注意	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合には至急ご連絡ください。	未払配当金の支払、支払明細発行については、特別口座の場合と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・取扱店をご利用ください。

■単元未満株式の買取・買増

単元未満株式(10株未満の株式)をご所有の株主さまは、その株式と併せて1単元(10株)となる数の株式の買増請求、単元未満株式の買取請求(当社に対する売却)が可能です。単元未満株式の買増・買取請求のお手続きをご希望の株主さまは、上記電話お問い合わせ先までご連絡ください。なお、株券等保管振替制度をご利用の場合は、お取引証券会社等へお申し出ください。

■配当金受領方法のお知らせ

当社配当金の受領方法は次のいずれかをご利用いただけます。

- (1) 配当金領収証による受領
- (2) 銀行口座振込による受領

※配当金領収証でお受取りの株主さまには、より安全・確実な銀行口座振込による受領方法のご利用をおすすめいたします。ご希望の株主さまは、同封の「配当金振込指定書」に必要事項をご記入のうえご返送ください。

シミツク株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-10-4 金剛ビル
 Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077
<http://www.cmhc.co.jp/>

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記いずれかの方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。


① 添付のアンケートハガキを郵送 (切手不要)

② インターネットからアクセス

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

 <http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 2309

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

 ※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

株主アンケートのご報告

2008年9月期シミックレポートにてご案内いたしましたアンケート調査において、多くの株主の皆さまより貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。今後も株主の皆さまのご期待に沿えるよう企業努力を続けてまいります。

当社の株式に対する方針を決定する際、特に重要視するもの

